

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- 回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



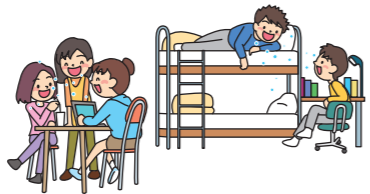
### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中中でも注意が必要。



### 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面⑤ 居場所の切り替わり

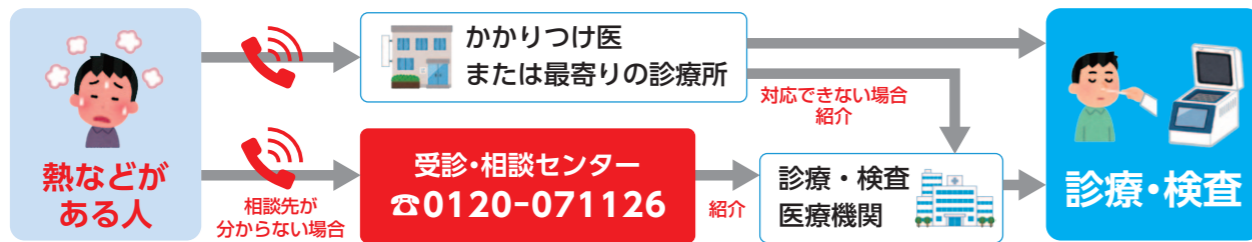
- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



年始は、人が集まる機会が多くなります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1人1人が感染防止対策の徹底をお願いします。

## 発熱などの症状がある人へ **まずは、電話でご相談ください**

適切な感染予防対策がとられた環境で安心して受診できるよう、予約受診など医療機関の指示に従いましょう。



● 土日祝日を含む24時間、県内全域で対応しています。● 保健師などの専門職が相談に応じ、「診療・検査医療機関」などを案内します。

## 自費でPCRなどの検査ができる検査機関

帰省する人や仕事で県境を越える場合など社会経済活動を行うために検査を希望する人は、無症状でも、検査費用を自己負担することで検査を受けることができます。

検査機関は随時更新されていますので、最新情報は長崎県のホームページでご確認ください。  
 ※検査を希望する場合は、必ず検査機関へ事前に電話で相談・予約をお願いします。  
 ※料金や、検体採取方法などについては、各検査機関にお問い合わせください。

長崎県 自費検査



県HP

※各種健診や相談・講座などについて  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止になる場合があります。

## 母子保健 ※対象年齢などは別途配布している「母子保健事業のお知らせ」をご覧ください。

圏子ども未来課(南有馬庁舎) ☎73-6652

事業名	実施日	場所	受付時間
乳児相談	14日(金)	有家保健センター	対象のお子さんには個別に案内を送付します。
	27日(木)	北有馬保健センター	
1歳6か月児健診	18日(火)	有家保健センター	12:15~12:45 対象のお子さんには個別に案内を送付します。
親子歯科健診	21日(金)	有家保健センター	12:30~13:00 対象のお子さんには個別に案内を送付します。
	25日(火)	北有馬保健センター	
3歳児健診	13日(木)	有家保健センター	12:15~12:45 対象のお子さんには個別に案内を送付します。

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱や咳などの風邪症状のある人、味覚や嗅覚の異常がある人、体調のすぐれない人は受診を控えてください。  
 \*各健診や相談は受診対象月を過ぎても受診できます。保護者とお子さんの体調の良いときに受診してください。  
 \*2週間以内に新型コロナウイルス感染症、またはその疑いのある人との接触がある人や、新型コロナウイルス感染症が感染拡大している地域や国へ訪問した人は受診を控えてください。  
 \*来所の際は可能な限りマスクを着用願います。

## 子育てひろば

子育てについてのお悩み、ご相談がある場合は、お気軽に連絡ください。

市内にある子育て支援センターでも、相談や情報提供を行っています。

各支援センターのイベント情報など、詳しくはこちら↓

市HPで子育てひろばの情報を配信中!



圏子ども未来課(南有馬庁舎) ☎73-6652

**南島原ぶなか保育園**  
 布津町乙2074番地1 ☎72-2106

『すべてはこども中心』

「心の力」「学ぶ力」「体の力」の3つの柱で個々の成長を大事にし、自立できる教育を目指しています。できない子はいません。「やれば絶対にできる」という気持ちを持ち、諦めず、継続できる子を育てます。ヨコミネ式の読み・書き・計算、毎日の英語あそび、自然体験を得て、生き抜いていく力を育みます。



## あなたの今日が、だれかの明日に。 ハタチの献血

1月1日から2月28日までの2カ月間は「はたちの献血」キャンペーン

圏健康づくり課(南有馬庁舎) ☎73-6641

献血者が減少しがちな冬期において、安全な血液製剤を安定的に患者さんに届けるため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心とした幅広い世代に、献血に関する理解と協力をお願いしています。

## 知ってほしいこと

- ①10~30代の献血者数が34%も減少!  
 10~30代の献血者数は2011年には264万人でしたが、2020年には174万人と、約34%も減少しています。
- ②1日あたり約14,000人の献血協力が必要  
 輸血に使用する血液は、人工的につくることができず、長期保存することもできません。輸血などに必要な血液を確保するためには、1日あたり約14,000人に協力していただく必要があります。
- ③献血は16歳からできます  
 200ml全血献血は男女とも16歳からできます。400ml全血献血は男性17歳から、女性は18歳からできます。また、成分献血は男女とも18歳からです。